

もりのみやこさんぎょうほけんかい

一般財団法人杜の都産業保健会

健診機関、健康保持増進機関、作業環境測定機関

求人情報

■初任給 178,100円～(専門職は別途資格手当あり)
 ■福利厚生 健康保険、退職金、企業年金
 ■休日休暇 年間休日110日(曜日は時期により異なる)、夏季休暇、年末年始休暇、慶弔休暇※勤務地により異なる

■職種 事務職、診療放射線技師、臨床検査技師、看護師、作業環境測定士
 ■インターンシップ受け入れ/あり
 ■大学生アルバイト受け入れ/なし
 ■採用担当者連絡先 TEL/022-251-8211
 E-mail/soumu@morisanho.or.jp

採用ページはコチラから



マイナビ リクナビ

■設立 1971年6月
 ■代表/理事長 山田章吾
 ■従業員数 212人 (男95人/女117人)

〒983-0031
 仙台市宮城野区小鶴1-21-8
 TEL/022-251-7261
 FAX/022-251-7291
<https://morisanho.or.jp/>



1 男女別にフロアが設けられている『一番町健診クリニック』の受付。追加オプションの有無などを確認する。2 最新式の装備を備えた中型の検診車(写真)をはじめ、大型、中型、小型を合わせ20数台の巡回検診車が揃っている。3 男性の健診を行う5階フロア。「生活習慣病予防と栄養」などメタボ解消を呼びかけるポスターなどが貼られている。4 レディースフロアとなっている『一番町健診クリニック』の4階。清潔感あふれる空間が広がる。5 健診の流れやオプション検査に関する注意事項などの情報共有を図る本部営業チームとメディカルチームの打合せ。6 事務棟のほか、巡回健診の基地として機能している宮城野区小鶴にある本部。7 「『ここで発見してもらって治りました』と受診者の方から言われるのはこの上ない喜びです」と爽やかな笑顔で語る山田章吾理事長。



東北の健康を支え、元気な笑顔をお届け

「働きがいのある明るい職場づくりに努め、お客さまのニーズに的確にこたえて、労働衛生の発展と心豊かな社会福祉へ貢献する」を理念とする「一般財団法人杜の都産業保健会」。1955年9月に「東北寄生虫予防協会」として設立された同会は1971年6月には宮城労働基準局(現宮城労働局)から「財団法人宮城県労働衛生医学協会」として認可され、宮城県内の企業で働く人たちの健康を確保すると共に快適な作業環境を促進するための事業を展開。2007年3月には東北エリアに本拠地を置く健診機関としては初めて厚生労働大臣認可機関となり、広く県内外の事業所で働く人たちの健康増進に寄与する事業を推進している。2011年の東日本大震災直後には施設健診ができなくなる非常事態に陥ったものの、バスによる巡回健診を従来通り実施。同年10月には「杜の都産業保健会一番町健診クリニック」を開院するなど健診の拡充に努めている。

産業保健活動を通じ健康増進をサポート

2019年4月より時間外労働の上限が法制化され、企業は労働生産性の向上が求められている。いま労働者の健康管理・健康づくりにより疾病や健康障害のリスクに備え、心身ともに健康でいきいきと働くことが労働生産性を高めると期待されている。「杜の都産業保健会」では様々な健診メニューをそろえ、企業で働く人たちの健康サポートに貢献している。

10

YOUNG STAFF INTERVIEW

会社に入社して、**一番やりがいを感じたことは？**

若手スタッフに聞いた



地元の皆さんの健康に貢献したいです

お客さま情報のデータ編集作業などを行っています。仙台出身なので地元の方々の健康づくりに貢献できることにやりがいを感じています。お客さまのニーズに合った健診をご案内できるよう頑張ります。

profile
【名前】高橋駿哉 【在籍年数】9ヶ月
【配属】営業部営業課



一緒に東北の健康を支えましょう



色々な検査を通じて健康を支えたいです

巡回健診で尿検査や心電図などの生理検査を行っています。今後はエコー検査の技術も習得して、お客さまの健康増進にさらに役立ちたいと思っています。

profile
【名前】岡部彪汰 【在籍年数】4ヶ月
【配属】巡回健診部検査課



アットホームで温かな職場ですよ



正確な健診と指導で健康へと導いていく

採血はリラックスできるような雰囲気で行うなど配慮がなされている。健康指導ではメタボリック解消につながる食生活や生活習慣などについて分かりやすく説明していく。

おいしい料理で乾杯。一年の労をねぎらう

2018年末に実施された小鶴本部と『一番町健診クリニック』の合同忘年会。普段の業務では顔を合わせる機会は少ないが、このような忘年会などのイベントを通じ良好なコミュニケーションを形成。アットホームな雰囲気が魅力だ。



女性も働きやすい 良好な職場環境

同会では若手、ベテランを問わず良好なコミュニケーションが取れている。また、「産休や育休の取得率が高く、その後ほとんどの職員が復職しています。子どもが小学4年生になるまでは時短制度も採用しています」と事業総務部の熊谷庸子次長が語るとおり、女性が働きやすい職場環境も同会の大きな魅力だ。作業環境測定士では二級から一級へ上がる際の

サポートや診療放射線技師では胃がん検診専門技師認定資格取得の助成を行うなど、資格取得へのバックアップもある。「少子高齢化が進行している現在、健康寿命の向上に関する取り組みは大きな課題。当会が行っている健診など予防医療の占めるウェイトは高くなるのが予想されます。予防医療に興味があり、働く人たちの役に立ちたいと考えている人は大歓迎です」と事業総務部総務人事課の北澤義明課長は呼びかけている。

仙台では初となる男女別フロアを設置
同会では宮城県を中心に東北エリア全域で検診車による巡回健診を実施。定期健康診断やストレスチェックをはじめ、生活習慣病予防健診や人間ドック、各種特殊健康診断などを行っている。また、人間ドックや脳ドックのほか、定期健康診断や様々なオプション検査を個人単位で受けられる「杜の都産業保健会一番町健診クリニック」には仙台初となる完全男女別のフロアを設置。多いときには1日で約200人に及ぶ受診者のプライバシー保護に努めていることはもちろん、高性能MRIなど最新の医療機器を導入し、疾病の予防・早期発見を推進している。さらに、全衛連（公益社団法人全国労働衛生団体連合会）が実施する健診機関の設備、機器、人員体制、技術、データ管理、健診後のフォローアップの状況等を総合的に評価し、優良な施設として認定する「労働衛生サービス機能評価」の認定証を受けているほか、同連合会が実施する精度管理調査度でも全4部

門で最高評価を獲得するなど、受診者に安心と安全、精度の高い技術力を提供している。

快適な職場環境の形成と心身の健康をサポート

同会では、粉じんをはじめ有機溶剤や騒音など、働く人たちの健康に悪影響を及ぼす有害因子を測定し、職場における危険・有害性などの健康障害要因を評価する作業環境測定を実施。「職場におけるこころの健康づくり」のために専門の資格を持ったスタッフによる教育研修をはじめ、厚生労働省「労働者の心の健康の保持増進のための指針」に沿ったメンタルヘルスケアも実施している。また、健康診断の結果を受けて行う一人ひとりへの具体的なアドバイス、インターネットを使った個人の健康データの蓄積、専門家のアドバイスが受けられる「健康レスキュー」といったアフターフォローも精力的に行っている。このように企業などで働く人たちの健康維持や増進に多大なる貢献を果たしている。

10

労働衛生の発展と心豊かな社会福祉に貢献



CTでは検査の前に金属などを身につけていないか再確認。緊張を和らげるような対応も好評だ。



胸部は1日に80~100を撮影。当日に撮影されたレントゲン画像を確認していく。



タイムスケジュールを組み、エリアごとに1日3~4社と打ち合わせを重ねていく営業風景。



『一番町健診クリニック』は労働衛生サービス機能評価制度の認定ほか、様々な認定を受けている。



有機溶剤や粉じんなど有害なものを扱う作業場でサンプリングした空気などを測定する作業環境測定。